

宇治山田市史ほかによる「町名の由来」

		中川原町	(★宮川町)明治元年度会府の管轄となり、伊勢参宮街道宮川の玄関口だから？
山田 十二郷	①	中島町	宮川の本支流に囲まれた中洲原の中でも高い所であったので
	② 上三郷	辻久留町	南北に分岐する北方道を「辻」、南方道を「久留」という。その分岐点だから
		二俣町	宮川の支流が上社の付近で二俣に分流したので
		浦口町	参宮する時に中島町より一本道で来たけれど、この地に来たら堤に沿って本道に立ち会う裏寄りの口に当たることから「(裏)浦口町」
	③	上中之郷町	(★常盤町)明治元年11月の「郷名廃止令」の誤解により改名、表通りの名前「常盤町」を使用した、そのいわれは不明
	④	下中之郷町	「下中之郷町」は上中之郷町が常盤町と改名した後も残ったが、「郷名廃止令」の誤解があったのになぜ適用されなかったのか？(宮町)近鉄「外宮前」駅を昭和8年「宮町」駅と改称したことに伴い、外宮の町だから「宮町」と改名したか？(逆もありか？資料がない)
	⑤	八日市場町	中世より毎月8日に市場を開いたことから
	⑥	曾禰町	度会郡小木村の曾禰という地から住民が移住した地なので
	⑦	大世古町	大きな世古があった、あるいは、浄土宗四大道場の一つ、大道場光善寺があったから(上の道場は「阿弥陀寺」常盤町)
		一之木町	この地に大きな榊 <small>いぢ</small> の木があったことから
	⑧	一志町・久保町	(一志久保)徳川中期に山田の中心地だったことから、「一志町」は表通りの意、世古の中に窪みがある所を「久保町」
	⑨	宮後町・西河原町	(宮後町)外宮正殿は南面していて、その後ろの地だから(西河原町)清川の西方向の河原だったから？
⑩	田中町・中世古町	田んぼの中に来た町だったので「田中」、同町にあった神光寺を中の道場と言ったことから(下の道場は岩淵町にあったが寺名は不明)同所の中央より南に入って「館」に通ずる小路(世古)が宮後より外宮北御門に至る小路と下馬所より一の鳥居に至る小路との中間にあることから「中世古」という説もある。田中町・中世古町が合併して田中中世古町となり、(本町)明治40年12月「本町」と改称した。	
	⑪	下馬所町・前野町	参拝のため一の鳥居前で下馬したので「下馬所」？、外宮前の原野という意で「前野」、(豊川町)明治10年2月2町が合併して改称。外宮から豊川が流れる地だから？
⑫ 下三郷	岡本町	高神山の宮崎に出張っている岡の麓だから	
	岩淵町	豊川の流がこの地の岩に堰き止められ深い淵ができたから	
	吹上町	清川と豊川が合流して河原ができ、北西の強風に砂塵が吹き上げられることから	
河崎	河崎町	勢田川の中洲と原野が交錯した川の崎であったから	
	船江町	古名船饗 <small>あえ</small> 村から	
	妙見町	(★尾上町)妙見堂があったから	
古市	常明寺門前町	(★倭町)常明寺の門前町だったから	
	古市町	古くに市場があったことから	
	下中之地蔵町	(★中之町)長峰山地蔵院が内外宮の中間にあったことから	
	上中之地蔵町	(★桜木町)同上 桜木地蔵があるから？長峰山地蔵院＝桜木地蔵？	
宇治	浦田町	元、下之切町。昔、浦田または世木と称した田野の一部で浦田村と称したのを元和年間1615～24に「浦田町」と改名	
	中之切町	宇治地方を上之切・中之切・下之切と称したが、上之切は「今在家町」に、下之切は「浦田町」に改名、「中之切町」は残存	
	今在家町	元、上之切町。今在家とは「新屋敷」の意 元和年間1615～24に「今在家町」に改名	
	新屋敷町	(今在家町の一部?)万治元年1658上館町の民家を移転させた地「河原」を「新屋敷町」と称した	
	中館町・下館町	(宇治館町)神事に参向する齋館を一の鳥居外に設置した場所を「館」、一の鳥居内を「上館」、外を「中館」、その北を「下館」	

のち、中島・辻久留・二俣・浦口を一郷とし、寛政3年に妙見町・河崎・船江を一郷として加えた。

★明治元年11月郷名・寺院号廃止により改名 上下中之郷町は町名のため郷名廃止の必要性はなかったが役人の誤解で改名してしまった。